

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【公表番号】特表2017-526739(P2017-526739A)

【公表日】平成29年9月14日(2017.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2017-035

【出願番号】特願2017-527194(P2017-527194)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/644	(2015.01)
A 6 1 K	47/42	(2017.01)
A 6 1 K	47/34	(2017.01)
A 6 1 K	47/46	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 L	27/36	(2006.01)
A 6 1 L	27/12	(2006.01)
A 6 1 L	27/18	(2006.01)
A 6 1 L	27/22	(2006.01)
A 6 1 L	27/46	(2006.01)
A 6 1 L	27/54	(2006.01)
A 6 1 L	27/56	(2006.01)
A 6 1 L	27/58	(2006.01)
A 6 1 L	27/34	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 L	27/20	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	35/644	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	47/46	
A 6 1 K	47/02	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	9/70	
A 6 1 L	27/36	3 1 1
A 6 1 L	27/12	
A 6 1 L	27/18	
A 6 1 L	27/22	
A 6 1 L	27/46	
A 6 1 L	27/54	
A 6 1 L	27/56	
A 6 1 L	27/58	
A 6 1 L	27/34	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 L	27/20	

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月3日(2018.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) 生分解性ポリマー、および

b) ハチミツ

を含む組成物。

【請求項2】

さらにフィラーを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記生分解性ポリマーがタンパク質を含む、請求項1または2のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項4】

前記生分解性ポリマーがゼラチンを含む、請求項1～3のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項5】

前記生分解性ポリマーがコラーゲンを含む、請求項1～4のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項6】

前記生分解性ポリマーが、ポリ(乳酸)、ポリジオキサン(PDO)またはこれらとゼラチンもしくはコラーゲンとのブレンドを含む、請求項1～5のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項7】

前記フィラーがヒドロキシアパタイトを含む、請求項2に記載の組成物。

【請求項8】

前記フィラーが、100重量部の前記生分解性ポリマーに対して1～300重量部の量で存在している、請求項2に記載の組成物。

【請求項9】

前記ハチミツが、100重量部の前記生分解性ポリマーに対して1重量部～15重量部の量で存在している、請求項1または2のいずれかに記載の組成物。

【請求項10】

前記ハチミツが、100重量部の前記生分解性ポリマーに対して5重量部～10重量部の量で存在している、請求項1または2のいずれかに記載の組成物。

【請求項11】

さらに、少なくとも1種類のさらなるフィラーまたは少なくとも1種類のさらなる抗生物質を含む、請求項2に記載の組成物。

【請求項12】

さらに治療有効量のハチミツを含む、請求項1または2のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項13】

さらに、100重量部の前記生分解性ポリマーに対して100重量部～200重量部の範囲の抗菌有効量のハチミツを含む、請求項12に記載の組成物。

【請求項14】

さらに、再生を刺激または促進させるために100重量部の前記生分解性ポリマーに対して20重量部～70重量部の範囲の有効量のハチミツを含む、請求項12に記載の組成物。

【請求項15】

a) 生分解性ポリマー、および

b) ハチミツ

を含む膜。

【請求項 1 6】

さらにフィラーを含む、請求項1 5に記載の膜。

【請求項 1 7】

請求項1 5または1 6のいずれか 1 項に記載の膜の少なくとも 2 つの層を含む多重層膜。

【請求項 1 8】

請求項1 5に記載の膜の 2 ~ 4 つの層を含む、請求項1 7に記載の多重層膜。

【請求項 1 9】

請求項1 5に記載の膜の 4 つの層を含む、請求項1 7に記載の多重層膜。

【請求項 2 0】

前記少なくとも 2 つの層が架橋されている、請求項1 7に記載の多重層膜。

【請求項 2 1】

前記少なくとも 2 つの層が、1 - エチル - 3 - (3 - ジメチルアミノプロピル) カルボジイミド、ゲニピンまたはグルタルアルデヒドによって架橋されている、請求項1 9に記載の多重層膜。

【請求項 2 2】

a) 分散体を形成するために前記フィラーを溶媒中に分散させる工程、および
b) 請求項 1 に記載の組成物を形成するために、前記生分解性ポリマーおよびハチミツを前記分散体と合わせる工程
を含む、請求項 2 に記載の組成物の作製方法。

【請求項 2 3】

溶媒が 2 , 2 , 2 - トリフルオロエタノール、1 , 1 , 1 , 3 , 3 , 3 - ヘキサフルオロ - 2 - プロパノール (H F P) または 9 : 1 の酢酸 : 水である、請求項2 2に記載の方法。

【請求項 2 4】

a) 生分解性ポリマー、および
b) ハチミツ

を含む纖維。

【請求項 2 5】

さらにフィラーを含む、請求項2 4に記載の纖維。

【請求項 2 6】

a) 分散体を形成するために、前記フィラーを溶媒中に分散させる工程と、
b) 組成物を形成するために、前記生分解性ポリマーおよびハチミツを前記分散体と合わせる工程と、
c) 請求項2 5に記載の纖維を形成するために、前記組成物をエレクトロスピニングする工程と
を含む、請求項2 5に記載の纖維の作製方法。

【請求項 2 7】

a) 分散体を形成するために、前記フィラーを溶媒中に分散させる工程と、
b) 組成物を形成するために、前記生分解性ポリマーおよびハチミツを前記分散体と合わせる工程と、
c) 繊維を形成することにより請求項1 6に記載の膜を形成するために、前記組成物をエレクトロスピニングする工程と、
を含む、請求項1 6に記載の膜の作製方法。

【請求項 2 8】

a) 分散体を形成するために、前記フィラーを溶媒中に分散させる工程と、
b) 前記生分解性ポリマーおよびハチミツを前記分散体と合わせる工程と、
c) スポンジを形成するために、前記分散体から溶媒を除去する工程と、および

d) 請求項1_6に記載の膜を形成するために、前記スponジを圧縮する工程とを含む、請求項1_6に記載の膜の作製方法。

【請求項 2_9】

前記圧縮する工程が、スponジを少なくとも3000ポンドの圧力で圧縮することを含む、請求項2_8に記載の方法。

【請求項 3_0】

さらに、ブロック、粒状体、膨潤膜、非圧縮膜または圧縮膜を形成するために膜を加工する工程を含む、請求項2_8に記載の方法。

【請求項 3_1】

a) 生分解性ポリマー、および

b) ハチミツ

を含む多重層膜。

【請求項 3_2】

さらにフィラーを含む、請求項3_1に記載の多重層膜。

【請求項 3_3】

a) 分散体を形成するために、前記フィラーを溶媒中に分散させる工程と、

b) 前記生分解性ポリマーおよびハチミツを前記分散体と合わせる工程と、

c) 繊維を形成するために前記組成物をエレクトロスピニングする工程と、

d) 少なくとも2つの不織メッシュ膜を形成するために、前記繊維を収集する工程と、および

e) 請求項3_2に記載の多重層膜を形成するために、前記少なくとも2つの不織メッシュ膜を結合させる工程

を含む、請求項3_2に記載の多重層膜の作製方法。

【請求項 3_4】

損傷組織を請求項1に記載の組成物、または請求項2_4に記載の繊維、または請求項1_5に記載の膜、または請求項1_7に記載の多重層膜、または請求項3_1に記載の多重層膜と接触させる工程を含む、損傷組織において軟組織の治癒を促進させる方法。

【請求項 3_5】

組織を請求項1に記載の組成物、または請求項2_4に記載の繊維、または請求項1_5に記載の膜、または請求項1_7に記載の多重層膜、または請求項3_1に記載の多重層膜と接触させる工程を含む、組織におけるマクロファージの応答を促進させる方法。